

平成 28 年度 第 44 回 千葉県中学校バスケットボール選手権大会 総評

千葉県バスケットボール協会主催の第 44 回千葉県中学校バスケットボール選手権大会は 6 月 2, 3, 11, 12 日の 4 日間、市原臨海体育館をメイン会場に行われた。本大会は一昨年度より各地区からの出場チーム枠が増え、全 56 チームがトーナメントを競う大規模大会となった。よって各地区のより多くの選手たちの活躍が見られる大会となっている。

男子は、新人戦でベスト 4に残ったシード校の松葉中（柏），ちはら台南中（市原），激戦区船橋，八千代の両地区より、今回ノーシードから勝ち上がってきた葛飾中（船橋），大和田中（八千代）が名を連ねた。

男子準決勝の松葉中対葛飾中は、葛飾中は #18 遠藤のゴール下を中心に得点。松葉中も #4 岩本，#7 築館のドライブで得点する。松葉中は終始安定したゲーム展開を続け、決勝進出を決めた。もう一方の大和田中対ちはら台南中は、ちはら台南中リードのまま迎えた終盤、大和田中は同点に追いつくと、試合終了間際に大和田中 #7 中森のバスケットカウントで大逆転。そのまま試合が終了し、大和田中が決勝進出を決めた。

激戦が予想された決勝戦。1Q から両チームともスピード感のあるバスケットを展開する中、松葉中 #8 豊田のシュートで先制し勢いに乗る。対する大和田中も #11 矢野を中心に 1 対 1 を挑み得点を重ねた。後半に入ると松葉中は、速攻や速いパス回しからのジャンプシュートなどで得点を重ねる。大和田中も #11 矢野のジャンプシュートや #7 中森のレイアップで得点するが、松葉中は #7 築館を中心に全員がシュートを決め、松葉中が新人大会に続き決勝戦を制し、選手権初優勝を飾った。

女子のベスト 4には、新人戦に続く連覇と今大会 7 連覇をねらう昭和学院中（市川・浦安），新人戦準優勝の海神中（船橋），昭和学院中に地区予選決勝で敗れ、リベンジを狙う妙典中（市川・浦安）そしてノーシードながら強豪を破って勝ち上がってきた市川七中（市川・浦安）が名を連ねた。バスケットボールの激戦区である市川・浦安地区から 3 チームがベスト 4 に勝ち上がる展開となった。

女子準決勝の昭和学院中対妙典中。妙典中は、合わせのプレーなどで得点を重ねるも、昭和学院中は、終始高さを生かしたインサイドプレーやリバウンドで安定した試合運びを見せ、決勝進出を決めた。市川七中対海神中の対戦では、序盤から市川七中がプレッシャーをかけるが、海神中は慌てずにボールを運ぶ。市川七中も #4 高柳が積極的にシュートを狙うも、リバウンドを制し要所での速攻が光った海神中が決勝進出を決めた。

決勝戦は昭和学院中と初優勝を狙う海神中との対戦。海神中は #5 于を中心に果敢にゴールへ向かう。対する昭和学院中はアグレッシブなディフェンスから相手のミスを誘い確実に得点に繋げる。昭和学院中は #5 松尾の落ち着いたゲームコントロールが光る。一方海神中は、ディフェンスでのプレッシャーを強めて流れを変えようとするも、その差が縮まらない。最後までディフェンスに的を絞らせないバスケットを展開した昭和学院中が勝利し、見事 7 連覇を果たした。

最後に、今大会は、市原市、山武郡市の 2 支部の協力により、多方面の会場に分かれての大会であったが、開催地の皆様のご尽力により大会を無事終えることができた。生徒役員という形で駐車場係、TO、接待などを意欲的に取り組んでくれた開催地のバスケットボール部の生徒たちに、連盟一同、感謝申し上げたい。

男子	優 勝	柏市立松葉中学校
	準優勝	八千代市立大和田中学校
	第 3 位	船橋市立葛飾中学校 市原市立ちはら台南中学校
	ベスト 8	千葉市立真砂中 館山市立第三中
		柏市立酒井根中 匝瑳市立八日市場第二中

女子	優 勝	昭和学院中学校
	準優勝	船橋市立海神中学校
	第 3 位	市川市立妙典立中学校 市川市立第七中学校
	ベスト 8	茂原市立茂原東中 八千代市立東高津中
		市川市立第八中 船橋市立船橋中

文責 千葉県ジュニアバスケットボール連盟 中村 圭吾(四街道中)